

半導体デバイスへのプログラム書き込みサービス

ファルコン
電子

受託数順調に伸ばす

ファルコン電子（横浜市）が評価され、今後1年間でも受託規模が倍増する見込みだ。

同社は09年設立の比較的新しい企業。台湾で25年以上の歴史を持ち、ICへのプログラム書き込み装置でコスト競争力のあるメーカーで、世界最大規模の

高品質とコスト競争力評価

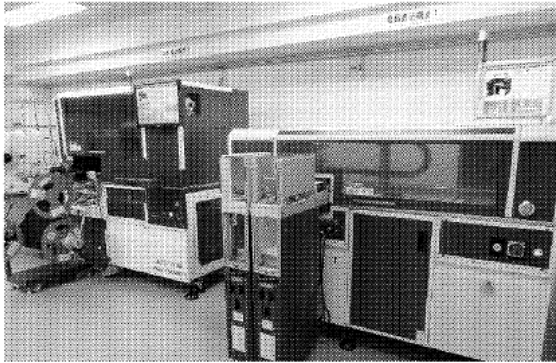
今後1年 倍増見込む

受託書き込みサービス提供企業でもあるHiiL。システムズ社からの一部出資を受ける。

事業内容はHiiL

。社の日本人として、プログラマなどHiiL。ブランドの書き込み関連装置の販売、OEM供給を行うとともにファルコン電子ブランドの日本向け装置の販売を実施。さらにHiiL。社や白

自社グループ製の書き込み装置が並ぶ横浜工場。書き込みから検査、トレイやテープなどへの格納まで自動化、人手作業で生じるエラーを排除している



社の書き込み装置を使用したプログラム書き込みの受託サービス事業を日本企業向けに展開する。

「現在、100社以上の半導体メーカーと情報交換を行い、新規デバイスが出荷された時点で書き込み対応できるケースは多い。もちろん、日系メーカーともパートナー関係にある」（木下社長）。

書き込みを行う拠点（パートナー含む）は、国内2カ所（横浜・長野）、海外5カ所（台湾台北・新竹、香港、中国蘇州、シンガポール）を数える。国内でパイロット生産を実施し、海外で本格量産という生産移管もスムーズに行える。HiiL。グループ拠点での海外量産時もファルコン電子がサポートを提供する。

木下社長は「十分なキャパシティで、大量生産時は特に大きなコストメリットを提供できる。一方で少量生産も受託できる。品質面も台北、香港工場ではISO/TS16949に準拠し、多くの車載デバイス向け受託の実績があるなど、高い水準にある。国内の半導体商社や電子機器メーカーからの受託を積極的に増やしたい」としている。